

科目名 (英)	プロシヨップ Professional workshop	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	木下 かな
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							曜日・時限 木曜日1時限
【学習内容】 学生から社会人になるにあたり、社会人とはどのようなものなのか、どう意識すると良いかを学び、マインドを切り替えることができるようになる。 ※実務経験: 日本航空株式会社にて客室乗務員として1年2か月乗務。 その他、株式会社Plan・Do・Seeにてウエディングプランナーとして3年4か月勤務勤務経験もあり、マナーやホスピタリティにも精通している。							
【到達目標】 社会人としての意識をもつことができる。 接客者としてのマインドをもち、仲間やお客様とのコミュニケーションを円滑にすることができる。							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、イントロダクション。マナーの種類を理解し、働く上で必要なマナーが何か、どういったことが必要なのかの心構えができる。
2回目	学生と社会人の違いを理解し、面接で聞かれてもスムーズに解答できるようになる。
3回目	言葉遣いにおいて、言い換えや実例をもとに学び正しい言葉遣いの使い分けができるようになる。
4回目	第一印象アップの法則①基本となる第一印象の法則を学び、快いご挨拶や笑顔ができるようになる。
5回目	第一印象アップの法則②基本とさらに美しい立居振舞を学び、表現力を磨くことができる。
6回目	第一印象アップの法則③基本とさらに自分の良さを見出し、強みにできるようになる。
7回目	自己分析をし自身を理解し、どういう強み弱みがあるか理解した上での対人コミュニケーションを円滑にできるようになる。
8回目	第一印象と自己分析で学んだことを各自落とし込んで面接で内定を勝ち取れるポイントを得ることができる。
9回目	携帯電話や会社の電話等での実際のマナーを学び、上司やお客様とスムーズに対応ができるようになる。
10回目	文字での自己表現を見出し、印象に残るお手紙を書くことができるようになる。
11回目	電子メールのマナーや専門用語を学び、適切な電子メール対応ができるようになる。
12回目	自社へ来客、他社への訪問時の対応を学び、実際にご案内ができるようになる。
13回目	言葉遣いの復習と社内、接遇用語を学び、実際にシーン別で問題なく使い分けができるようになる。
14回目	★評価週 復習・試験(筆記・実技)
15回目	★まとめ・追試/再試 総復習
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	いよいよ最終の学年となりました。これから社会に羽ばたく皆様の社会人としてのマインドを育成し、より皆様の良さを磨いていけるようサポートして参りたいと思います。自分磨きを一緒に楽しみませんか。
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具	

科目名 (英)	プロシヨップ Professional workshop	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	木下 かな
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							曜日・時限 木曜日1時限
【学習内容】 前期で学んだ社会人としてのマインドを具体的にどう行動に表現し、接客者としてのプロ意識を考えて体现できるようになる。 ※実務経験: 日本航空株式会社に客室乗務員として1年2か月乗務。 その他、株式会社Plan・Do・Seeにてウエディングプランナーとして3年4か月勤務勤務経験もあり、マナーやホスピタリティにも精通している。							
【到達目標】 前期で身に着けたマインドをもとに具体的なシーン別にどう対応したらよいかを自ら考え、体现できる。							

授業計画・内容	
1回目	ヒアリング力とは何かを学び、聞き上手・話し上手になる。
2回目	仕事の仕方として報連相とは何か、どうすればいいのかを状況別伝え方を判断できるようになる。
3回目	会社の部署や用語を学び、どの業種の方とも円滑なコミュニケーションがとれるようになる。
4回目	リスクヘッジとは何か、どう対応するのかをシーン別に考え、対応できるようになる。
5回目	スペシャルケアを必要とするマーク、シチュエーションを学び、対応できるようにする。(車いすを使用します)
6回目	ビジネス文章の書き方を学び、書き言葉に気を付けて公文書を書くことができるようになる。
7回目	食事のマナーを学び、様々な方のお食事のシーンも楽しめるようになる。サーブする側としてもご案内がスムーズにできるようになる。
8回目	海外のマナーの違いを学び、諸外国の方の接遇もスムーズにできるようになる。
9回目	観光や日本の地域の特色を知り国内外のお客様とのコミュニケーションを円滑にすることができる。
10回目	冠婚葬祭のマナー①主に「冠」・「婚」について学び、どういった対応が必要か他の方にご案内できるようになる。
11回目	冠婚葬祭のマナー②主に「葬」・「祭」について学び、どういった対応が必要か他の方にご案内できるようになる。
12回目	和室での来客対応や和食のマナーを学び、実際に対応できるようになる。
13回目	後期の復習。確実にどのようなシーンであっても即座に対応できるようになる。
14回目	★評価週 復習・試験(筆記・実技)
15回目	★まとめ・追試/再試 総復習
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	前期受講した社会人としてのマインドを基に、より社会人としてどのようなシーンでどのような対応をしていくかを具体的に考え実践していきます。 より磨きをかけ未来に羽ばたいていけるようサポート致します。
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具	

科目名 (英)	ホテルマネジメントⅠ Hospitality management	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	高橋 良一
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本校において、世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未来を予測をしながら、収益を上げる為のマネジメント手法の基礎からコストコントロールの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導の為、数値分析問題などを中心に指導実施する。 ※実務経験:ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の㈱HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在7期目に至る。							
【到達目標】 ホテルに限らず、ビジネスは利益と経費の相関関係である。ホテル飲食業界で売上に応じた適正な経費の範囲を、それはどういう根拠によって計算されるのかを共通認識として持ち、ホテルレストラン業界マネジメントの基礎を習得する。営業分析数値を自ら操り、P/Lの解説分析が出来るレベルを到達とする							

授業計画・内容	
1回目	ホテルの原価とは何か理解することができるようになる。客室の原価の有無について知ることができる
2回目	ホテル旅館の倒産する原因が理解できる様になる 潰れるホテル旅館の共通点が判る
3回目	ホテルの利益と経費 の内容が理解出来、利益を出すポイントが理解できる様になる
4回目	ホテル売上管理の流れ や ホテル会計用語が理解出来る様になる
5回目	宿泊料飲数値分析 手法が理解出来、小問題を解くことが出来る 解答説明 戦略は分析からの意味が解る
6回目	ホテルの損益収支問題を解きながら、損益収支の見方が理解出来るようになる こんなに売上で利益はこれだけ？増収減益の疑問を解決することが出来る
7回目	経費を節減する2つの方向性で経費の削減方法が理解できる 経費節減できないホテル旅館事例 で問題点が判る様になる
8回目	FBCの重要性 が理解出来て原価意識が高まる様になる 標準原価と実態原価を知ることでロスを発見することが出来る様になる
9回目	PDCAサイクルで経費節減の手法が理解できる様になる
10回目	ホテルマネジメントに有効な経営指標を理解することで、経営判断の重要性を理解することが出来る
11回目	PMS CRMの重要性を認識し、その仕組みを理解することが出来る
12回目	自分ホテルを計画してみよう！！ 業態構成から 損益収支試算表作成 迄を自ら計画する知識を持つことが出来る
13回目	経費削減の検討 重篤レベル と 優先順位を探る事が出来る 夏休み課題は損益分岐点売上高(固定費・変動費・限界利益)の計算問題を解くことが出来る
14回目	前期間中に実施した小テストの中から前期試験出題
15回目	基本同じ問題はしない。 課題レポートにて実施
準備学習 時間外学習	ホテル宿泊業の事業特性を深く認識し、売上は減っても利益を出す仕組みがないか？のテーマに挑む。ホテルレストラン業界をオペレーターとして志望する学生が多い中で、この業界を企業ビジネスとして他業界と比較する目線を持つことが重要と考える。学生には新聞等のメディアで色んな産業経済に目線を向ける習慣付けを指導したい。レストランマネジメント授業と連動して自分ホテルの事業計画と経営シミュレーション体験を実施する。
評価方法	筆記試験 100% 参考に提出レポート等 評価
受講生への メッセージ	入るを計って出るを制す 商いの基本を感じてもらいたい。 ホテルマネジメントでもコストコントロールは マネジメント(経営)の主役の部分です。単に経費を削る事では無く、無駄を省きあるべき姿を追求する という点では日常生活にも応用できる学習です。ホテル旅館業界の人手不足が取りざたされる昨今ですが、切実に不足するのはマネジメント人材です。ホテル業は元より観光産業全般に関心を寄せ、観光立国ニッポンの為に沢山学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ・学生使用テキスト無し ・全てプリント配布 あるいはPPTやPDF表示による課題 ※授業中 PCやタブレット所有の場合はExcel使用をします	

科目名 (英)	ホテルマネジメントⅡ Hospitality management	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	高橋 良一
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期 曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本校において、世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未来を予測をしながら、収益を上げる為のマネジメント手法の基礎からコストコントロールの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導の為、数値分析問題などを中心に指導実施する。 ※実務経験:ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の㈱HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在7期目に至る。							
【到達目標】 ホテルに限らず、ビジネスは利益と経費の相関関係である。ホテル飲食業界で売上に応じた適正な経費の範囲を、それはどういう根拠によって計算されるのかを共通認識として持ち、ホテルレストラン業界マネジメントの基礎を習得する。営業分析数値を自ら操り、P/Lの解説分析が出来るレベルを到達とする							

授業計画・内容	
1回目	ホテルの原価とは何か理解することができるようになる。客室の原価の有無について知ることができる
2回目	ホテル旅館の倒産する原因が理解できる様になる 潰れるホテル旅館の共通点が判る
3回目	ホテルの利益と経費 の内容が理解出来、利益を出すポイントが理解できる様になる
4回目	ホテル売上管理の流れ や ホテル会計用語が理解出来る様になる
5回目	宿泊料飲数値分析 手法が理解出来、小問題を解くことが出来る 解答説明 戦略は分析からの意味が解る
6回目	ホテルの損益収支問題を解きながら、損益収支の見方が理解出来るようになる こんなに売上で利益はこれだけ？増収減益の疑問を解決することが出来る
7回目	経費を節減する2つの方向性で経費の削減方法が理解できる 経費節減できないホテル旅館事例 で問題点が判る様になる
8回目	FBCの重要性 が理解出来て原価意識が高まる様になる 標準原価と実態原価を知ることでロスを発見することが出来る様になる
9回目	PDCAサイクルで経費節減の手法が理解できる様になる
10回目	ホテルマネジメントに有効な経営指標を理解することで、経営判断の重要性を理解することが出来る
11回目	PMS CRMの重要性を認識し、その仕組みを理解することが出来る
12回目	自分ホテルを計画してみよう！！ 業態構成から 損益収支試算表作成 迄を自ら計画する知識を持つことが出来る
13回目	経費削減の検討 重篤レベル と 優先順位を探る事が出来る 夏休み課題は損益分岐点売上高(固定費・変動費・限界利益)の計算問題を解くことが出来る
14回目	前期間中に実施した小テストの中から前期試験出題
15回目	基本同じ問題はしない。 課題レポートにて実施
準備学習 時間外学習	ホテル宿泊業の事業特性を深く認識し、売上は減っても利益を出す仕組みがないか？のテーマに挑む。ホテルレストラン業界をオペレーターとして志望する学生が多い中で、この業界を企業ビジネスとして他業界と比較する目線を持つことが重要と考える。学生には新聞等のメディアで色んな産業経済に目線を向ける習慣付けを指導したい。レストランマネジメント授業と連動して自分ホテルの事業計画と経営シミュレーション体験を実施する。
評価方法	筆記試験 100% 参考に提出レポート等 評価
受講生への メッセージ	入るを計って出るを制す 商いの基本を感じてもらいたい。 ホテルマネジメントでもコストコントロールは マネジメント(経営)の主役の部分です。単に経費を削る事では無く、無駄を省きあるべき姿を追求する という点では日常生活にも応用できる学習です。ホテル旅館業界の人手不足が取りざたされる昨今ですが、切実に不足するのはマネジメント人材です。ホテル業は元より観光産業全般に関心を寄せ、観光立国ニッポンの為に沢山学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ・学生使用テキスト無し ・全てプリント配布 あるいはPPTやPDF表示による課題 ※授業中 PCやタブレット所有の場合はExcel使用します	

科目名 (英)	中国語 Chinese Language	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	李 霜華
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期 曜日・時限 月曜日3時限 / 木曜日4時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 長年に亘り、日本言語学と教育方法学の理論に基づき、エキスパートとしての中国語教育を行ってきました。本校の指導方針に従って、基礎から丁寧に指導し、特に発音と声調を正しく身につかせ、将来の仕事で使えるように、最初から良い基盤を築いていきます。また、仕事現場に役立つため、普段の授業では、発音、文字、文法の重要なポイントをわかりやすく説明して、仕事用の単語、フレーズを覚えるように、繰り返し練習してもらいます。また中国語検定試験も挑戦してもらい、外国語のレベルを明らかに証明出来るように、クラス全員で一緒に頑張って、授業を確実に一步一步進めます。							
【到達目標】 グローバル化社会に於いて適応力が高い人間になるため、コミュニケーション能力、特に外国語のレベルが問われるという意識を持って、中国語を身につける重要性が認識できます。また、中国語の自己紹介をはじめ、日常会話、ビジネス会話、将来の仕事現場での中国観光客に対するサービス提供ができるし、中国語検定試験も合格できるように、今から少しずつ進んでいきます。更に中国語の勉強を通じて、中国・日本・アジアの文化について興味を感じ、深く理解できます。卒業後、様々な仕事場で、習った知識を生かし活躍している場面を頭に思い浮かべながら、日々の努力によって語学力を徐々に高めることができます。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、中国語概況について理解できる。発音の勉強、練習を経て、中国語で簡単な自己紹介ができる。
2回目	中国語の発音を復習し、挨拶の言葉を身につけることができる。また自己紹介の内容を増やし、少しずつ覚えることができる。
3回目	自己紹介が流暢にできる。これからの仕事に関係がある単語を勉強し覚えることができる。
4回目	簡単な空港用語、ホテル用語を学び、中国観光客へのサービス会話を身につけることができる。HSK中検の過去問題を部分的に解くことができる。
5回目	検定試験のリスニング練習、中国語の漢字の書き方、基礎文法などを身につけることができる。
6回目	自己紹介の内容を充実させ、就職面接に向かって、自分の特徴をアピールすることができる。
7回目	検定試験の過去問題を導入し、各部分の対策を身につけることができる。
8回目	将来の職場の場面を設定して、中国語で対応できるように、会話を身につけることができる。
9回目	教室でグループを分けて、卒業後の仕事現場を作って、中国語で案内することができる。
10回目	今まで習ったことを復習し、第一回目のHSK中国語検定試験に向かって、一層力を入れることができる。
11回目	模擬試験を行ない、全員で合格できるように期待することができる。
12回目	自分の足りない部分を見つけ、その解決策をみんなで一緒に身につけることができる。
13回目	前期の学習内容を全面的に復習し、授業効果を一層高めることができる。
14回目	評価週、期末試験(リスニング・会話・筆記試験を含む)
15回目	まとめ、反省会、これからの課題を決めて、更に高い目標を目指して頑張ることができる。
準備学習 時間外学習	授業の前に、復習・予習が必要で、単語、フレーズを随時に暗記する。インターネット上の中国語を聞いたり、練習したりして、できるだけたくさんの言葉を覚えるように努力してもらう。
評価方法	●授業態度(30%) ●小テスト(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。
受講生への メッセージ	ご入学、おめでとうございます。自分の勉強意欲と若さを十分に活かして、悔いのない学校生活を送ってください。中国語の勉強を通じて、国際人の意識を高め、視野を広げ、将来、与えられた仕事だけでなく、自ら進んで社会に貢献できる人間になってください。授業中、わからないことがあれば、遠慮せずに積極的に質問してください。クラス全員の力を合わせ、一緒に頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 市販HSK検定試験問題集、会話プリント等	

科目名 (英)	中国語	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	李 霜華
	Chinese Language	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
学科・コース		ホスピタリティビジネス科 エアラインコース				曜日・時限	月曜日3時限 / 木曜日4時限
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 長年に亘り、言語学と教育方法学の理論に基づいて、エキスパートとしての中国語教育を行ってきました。エアライン・ホテル業務に使えるオリジナル教材を作って、前期の勉強を踏まえ、中国語の基礎を更に固め、発音・文法・会話を中心に深く指導していきます。 授業の内容を身につけるだけでなく、自らの勉強を通じて問題解決の能力を高めるように期待しています。プリントを配り、日常会話・ビジネス会話を繰り返し読んだり暗記したりさせ、流暢に話せるまで練習してもらいます。また、数十年の教育経験を活かして、受講生が中国語検定試験HSK2級、3級に合格できるように、試験問題を解くノウハウを丁寧に説明し、クラス全員で力を合わせて、目標を目指して頑張ってもらいます。□							
【到達目標】 グローバル化社会に於いて適応力が高い人間になるため、コミュニケーション能力、特に外国語のレベルが問われるという意識を持って、中国語を身につける重要性が深く認識できます。また、中国語の自己紹介をはじめ、日常会話、ビジネス会話、将来の仕事現場で中国人観光客に対するサービス提供ができるように、今から少しずつ進んでいき、卒業するまで中国語が話せるように皆で頑張ります。前期の続きとして、中国語検定試験HSK2級、3級に合格できるように奮闘してもらいます。							

授業計画・内容	
1回目	前期に習った内容を全面的に復習し、発音・四声・イントネーションについて徹底的に練習することができる。
2回目	前期に続き、中国語検定試験HSK2級問題を取り上げて、各部分に分けて、詳しい説明を聞いて、そのノウハウを理解することができる。
3回目	過去問の練習について一回ずつ自分の目標を立てて、その達成感を味わいながら、更に高い目標へ進むことができる。
4回目	検定試験の問題について、各部分を徹底的に練習しながら、日常会話・業務用語も学ぶことができる。
5回目	検定試験の過去問を練習すると同時に、言葉の量を増やし、基礎文法を重点的に学ぶことができる
6回目	リスニング問題を重点的に練習し、自分の弱点を見つけて、克服することができる。
7回目	検定試験の過去問についての共通性を見つけ、その対策を身につけることができる。。
8回目	検定試験の最終的な復習と合格できるノウハウを徹底的に身に着けることができる。
9回目	仕事用のビジネス会話を中心に練習し、臨機応変に対応する能力を高めることができる。
10回目	空港・ホテルの様々な場面を作って、習った言葉、フレーズを活用することができる。
11回目	教室でグループを分けて、卒業後の仕事現場を作って、中国語で案内することができる。
12回目	後期の学習内容を全面的に復習し、授業効果を一層高めることができる。
13回目	期末試験前の総合的な復習、口頭試問の答えも十分に練習することができる。
14回目	評価週、期末試験(リスニング・会話・レポートを含む)
15回目	まとめ、反省会、これからの仕事に向かって、更に人生の高い目標を目指して頑張っていくことができる。
準備学習 時間外学習	授業の前に、復習・予習が必要で、単語、フレーズを随時に暗記する。インターネット上の中国語を聞いたり、練習したりして、できるだけたくさん言葉覚えるように努力してもらう。
評価方法	●授業態度(30%) ●小テスト(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。
受講生への メッセージ	皆さん、前期の授業でよく頑張ってくれて、ありがとう！中国語を更に上手に身につけられるように、後期も工夫しながら一緒に前へ進んでいきましょう。将来仕事に使えるビジネス中国語を中心に、単語の量を増やし、決まったフレーズをしっかりと覚え、就職してからすぐに中国語でお客様に対応できるように、日々コツコツと努力することが大事です。どうか皆で力を合わせ、これからの楽しい学校生活を過ごしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 日常会話、ビジネス会話のプリント・中国語検定試験過去問プリント、単語集	

科目名 (英)	空間コーディネート演習	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	上 鶴 瀬 茂 樹
	FrowerExercise	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	水曜日2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
トレンドを取り入れた装花の一連の流れを実習を交えながら楽しく学んでいきます。 ※実務経験 2004年、NFD本部講師資格を取得。国内外でフラワーデザイン・アレンジメントを学び独立。2017年KAMYU STYLE(カミュスタイル)をスタート。その後数々のハイブランドコレクションや店舗の装花、ホテルウェディングやレストランウェディングの会場装花・装飾、ブーケ制作の総合プロデュースを多数担当。ジュエリーやアパレルブランドの広告撮影時のフラワーコーディネート、展示会や催事ではVMDも担当。繊細かつクライアントのニーズに合わせた提案や仕事に対する姿勢は、業界関係者からの信頼が厚い。フローリストの枠を超え、フラワーアーティストとして様々な分野で活躍の場を広げている。 【到達目標】 トレンドを取り入れたテーブル装花の一連の流れを学び、実践に活かすスキルを身につける。							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション・自己紹介／後期授業内容について
第2回	昨今のブライダルトレンドを読み解き説明できるようになる。
第3回	年間のフラワーイベントについて理解することができる。
第4回	シーズナルイベント装花①／オータムアレンジメント制作ができるようになる。(2,000円)
第5回	昨今のテーブルコーディネートを理解することができる。
第6回	昨今の会場コーディネートを理解することができる。
第7回	テーブルコーディネートプレゼン資料を製作する。
第8回	シーズナルイベント装花／ウィンターアレンジメント制作ができるようになる。(1,500円)
第9回	これまでの講義をふまえ、ブライダルトレンドプレゼン資料を製作する。
第10回	プレゼンテーション
第11回	シーズナルイベント装花③／NEOLめ縄飾り制作ができるようになる。(2,500円)
第12回	テーブルコーディネート(和装)を理解することができる。
第13回	ウェルカムスペースディスプレイ&装花について理解することができる。
第14回	期末試験
第15回	まとめ・解答
準備学習 時間外学習	
評価方法	プレゼンテーション30% 期末試験70%
受講生への メッセージ	トレンドを取り入れたブライダル装花の一連の流れを実習を交えながら楽しく学び、知識を実践に活かすスキルを身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	企業プロジェクト CorporateCollaborationProject	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	林田裕也
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	金曜日3限目
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
企業様より課題をいただきホテルでの新しい商品やプランを考案し、ターゲットの設定、プロモーション方法、価格帯の設定を行い、課題を頂いた企業様へプレゼンテーションまで商品化を進めるうえで一連の流れを経験する。							
※実務経験 パークハイアット東京7年間勤務、リゾートトラスト社東京ベイコート倶楽部東京後、株式会社プライムコンセプト10年専務取締役							
【到達目標】 ①ホテルにおいて新規顧客の獲得やリピーターの定着など創造力を活かして、ホテルへの収益を獲得できる人材になる。②1年後のJESC奨励賞に向けて企業課題に取り組むことができる③数値化された情報を様々な視点から分析し、プロジェクトに活かすことができる。							

授業計画・内容	
1回目	企業プロジェクトの目的と課題の把握ができる
2回目	対象ホテルが持つ課題に背景にある問題や環境を把握する事ができる
3回目	対象ホテルの企業分析と外部環境の資料作成ができる①
4回目	対象ホテルの企業分析と外部環境の資料作成ができる②
5回目	対象ホテルの課題に対する素案を、チームディスカッションを用いて素案を作る事ができる
6回目	課題に対するアイデアの骨子を作る事ができる
7回目	プロジェクトの資料作成ができる①
8回目	プロジェクトの資料作成ができる②
9回目	作成資料を他チームの前で発表する事で、課題や新たな疑問事項を明確にする事ができる
10回目	プロジェクトの資料作成ができる③
11回目	プロジェクトの資料作成ができる④
12回目	プレゼンテーションのスキルを学び、トレーニングする事ができる①
13回目	プレゼンテーションのスキルを学び、トレーニングする事ができる②
14回目	★評価週
15回目	企業へプレゼンテーションの実施
準備学習 時間外学習	企業プレゼンテーションのフィードバックにて学びを発見する事ができる
現地訪問と視察の実施	
評価方法	期末テスト100%(毎回の授業におけるチーム制作への積極性・取り組み姿勢・課題成果物のクオリティも含む)
受講生への メッセージ	課題提供のホテルを、自身が責任者になった場合の意識を持ち、正しい課題を通して、将来現場で様々な課題解決能力を持つ、実際に活躍できるスタッフへの成長を目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
無し	

科目名 (英)	手話 I	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	ろうあ協会
	Sign language I	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	木曜日2時限
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 福岡市手話奉仕員養成事業の講師の実績がある講師が、手話の基本文法を指導する。 聴覚障害者を理解し、聴覚障害者との場面によってはコミュニケーション手段や簡単な手話による会話の実践を行う。							
【到達目標】 ・手話で自己紹介を表現することができる。 ・聞こえない人の呼称とコミュニケーション手段を説明することができる。 ・いろいろな職業で使えるような、接客用語を表現することができる。							

授業計画・内容	
1回目	第19講座 具体的表現①形の大小、強弱、速さを表情をつけて表現することができる。
2回目	第20講座 具体的表現②動きや様子、形を目で見て表現することができる。
3回目	第21講座 具体的表現③動きの様子を、その場に合った手話で表現することができる。
4回目	第22講座 まとめ 具体的表現を使って、話し合うことができる。
5回目	小テスト 第23講座 主語 位置の方向①一対一で会話をするすることができる。
6回目	第24講座 主語 位置の方向②二人以上の会話を一人で演じて表現することができる。
7回目	第25講座 主語 位置の方向③三人以上になっても、「誰が」「誰に」の表現を工夫することができる。
8回目	第26講座 主語 位置の方向④誰がしたのかを指差しで表現することができる。
9回目	第27講座 まとめ 主語を分かりやすく表現することができる。
10回目	小テスト 第28講座 空間 左右・前後①左右、前後の空間を使って、時の経過や複数の場所を表現することができる。
11回目	第29講座 空間 上下・指さし②上下の空間を使って、人の位置や一の移動を表現することができる。指差しと視線を使って表現することができる。
12回目	接客用語の復習 第30講座 同時性 両手や視線を使って、2つのことを同時に表現することができる。
13回目	第31講座 指の代理的表現 今まで学習した表現した単語や内容を、指を使って表現することができる。
14回目	試験
15回目	総合復習 手話スピーチ
準備学習 時間外学習	復習をしてください
評価方法	・出席率、出席態度を評価する ・筆記試験を実施する ・手話の読み書き試験を実施する
受講生への メッセージ	手話を学んで、いろいろな場面で、ろう者とのコミュニケーションが出来るように学習します。一緒に頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 【参考テキスト】手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう手話で話そう	

科目名 (英)	手話Ⅱ Sign languageⅡ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	ろうあ協会
		授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 木曜日3時限
学科・コース	ホスピタリティビジネス科						
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 福岡市手話奉仕員養成事業の講師の実績がある講師が、手話の基本文法を指導する。 聴覚障害者を理解し、聴覚障害者との場面によってのコミュニケーション手段や簡単な手話による会話の実践を行う。							
【到達目標】 ・手話で自己紹介を表現することができる。 ・聞こえない人の呼称とコミュニケーション手段を説明することができる。 ・いろいろな職業で使えるような、接客用語を表現することができる。							

授業計画・内容	
1回目	第19講座 具体的表現①形の大小、強弱、速さを表情をつけて表現することができる。
2回目	第20講座 具体的表現②動きや様子、形を目で見て表現することができる。
3回目	第21講座 具体的表現③動きの様子を、その場に合った手話で表現することができる。
4回目	第22講座 まとめ 具体的表現を使って、話し合うことができる。
5回目	小テスト 第23講座 主語 位置の方向①一対一で会話をするすることができる。
6回目	第24講座 主語 位置の方向②二人以上の会話を一人で演じて表現することができる。
7回目	第25講座 主語 位置の方向③三人以上になっても、「誰が」「誰に」の表現を工夫することができる。
8回目	第26講座 主語 位置の方向④誰がしたのかを指差しで表現することができる。
9回目	第27講座 まとめ 主語を分かりやすく表現することができる。
10回目	小テスト 第28講座 空間 左右・前後①左右、前後の空間を使って、時の経過や複数の場所を表現することができる。
11回目	第29講座 空間 上下・指さし②上下の空間を使って、人の位置や一の移動を表現することができる。指差しと視線を使って表現することができる。
12回目	接客用語の復習 第30講座 同時性 両手や視線を使って、2つのことを同時に表現することができる。
13回目	第31講座 指の代理的表現 今まで学習した表現した単語や内容を、指を使って表現することができる。
14回目	試験
15回目	総合復習 手話スピーチ
準備学習 時間外学習	復習をしてください
評価方法	・出席率、出席態度を評価する ・筆記試験を実施する ・手話の読み書き試験を実施する
受講生への メッセージ	手話を学んで、いろいろな場面で、ろう者とのコミュニケーションが出来るように学習します。一緒に頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 【参考テキスト】手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう手話で話そう	

科目名 (英)	英会話(リーディング)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	ODEGBARO TUNDE
	English(Reading)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前・後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	水曜日1時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 英語でのコミュニケーション、業界に必要な英語力を身につけます ※実務経験: インターナショナルエアアカデミーにて英語講師として10年勤務							
【到達目標】 基本的な英語の読み書きができる 業界に必要な英語の語彙力アップ							

授業計画・内容		
1回目	航空業界のさまざまな役割（パイロット、客室乗務員、地上乗務員など）を読むことができる	
2回目	搭乗券の情報を読むことができる	
3回目	フライトスケジュール（出発時間、到着時間、乗り継ぎ時間など）を読むことができる	
4回目	標識を読んで空港内を移動できる	
5回目	安全上の注意事項を読むことができる	
6回目	飛行機内のメニューを読むことができる	
7回目	飛行機内でのエンターテインメントのオプションを読むことができる	
8回目	さまざまな目的地の天気予報を読むことができる	
9回目	手荷物タグの情報を読むことができる	
10回目	緊急時の指示を読んで理解し説明できる	
11回目	レッスン1～3の復習。	
12回目	レッスン4～6の復習。	
13回目	レッスン7～10の復習。	
14回目	★評価週	理解度テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	理解度テストの総復習
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください	
評価方法	最終テスト75％、授業内での発表数25％	
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。	
【使用教科書・教材・参考書】		
授業内筆記（この授業専用のノートを用意してください。） ※注）他の授業のノートと一緒にしないようにしてください。		

科目名 (英)	韓国語 Korean	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	金 有里
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	月曜日4時限
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 韓国語を基礎から学習。英語に比べて文字も書いたことのない韓国語を早く習得してもらう為、テキストに沿ってただ教えるのではなく、その日にする内容のハングルはすべて書いてもらいます。なるべくハングルに触れてもらい、慣れてもらい苦手意識をなくし、簡単な単語や文章を繰り返し小テストし、マスターすることで達成感から自信に繋げ、K-POPを歌ってより韓国語の使い方の幅を広げます。 ※実務経験：2015年からラジオ局LOVE FMにてK-POP番組を担当し、アーティストとのインタビューや簡単な通訳などから韓国語の幅を広げた。講師としては2020年秋ごろよりスタート。その後企業様などの団体から個人的レッスンまで得意なK-POPソング、ドラマのセリフなどを使い、ユニークなレッスンをモットーに韓国語講師として活動中。 【到達目標】 ハングルを読めるようになる、自己紹介が出来る、簡単な会話が出来る。							

授業計画・内容	
1回目	韓国語の仕組みと母音の勉強1,k-popソング
2回目	子音の勉強1
3回目	子音の勉強2
4回目	母音の勉強2、パッチム1
5回目	パッチム2、ハングル読み方練習
6回目	ここまでのまとめ復習とK-pop ソング、数字の勉強
7回目	漢数字を使った会話、体の部位
8回目	数え数字の勉強
9回目	曜日、月、年、時間など
10回目	簡単な疑問形、動詞、形容詞を会話で学ぶ その1
11回目	簡単な疑問形、動詞、形容詞を会話で学ぶ その2
12回目	今までの総まとめのテストとk-popソング
13回目	韓国語の航空アナウンスしてみよう
14回目	自己紹介と自身の言いたい事をまとめて韓国語でいう練習 その1
15回目	自己紹介と自身の言いたい事をまとめて韓国語でいう練習 その2
準備学習 時間外学習	次の授業である復習小テストの勉強
評価方法	授業態度 30% 期末試験 70%
受講生への メッセージ	韓国語は日本語と文法が同じで発音がほぼ同じものもあるくらいスツと入ってきやすかったり、激ムズだったり面白い外国語です！！口をよく動かします。最初慣れるまで練習が沢山必要ですので、口の体操よくしといってください！！授業が進むと複雑になります。混乱するときは、その都度細かい事でも必ず質問してもらって、クリアにしてから次のステップに行きましょう！！とにかく肩の力を抜いてリラックスして楽しく授業していきましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】 基礎から学ぶ韓国語講座（あまり使いません）	

科目名 (英)	英会話(ライティング)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	ODEGBARO TUNDE
	English(Writing)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前・後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	水曜日2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 英語でのコミュニケーション、業界に必要な英語力を身につけます ※実務経験: インターナショナルエアーアカデミーにて英語講師として10年勤務							
【到達目標】 基本的な英語の読み書きができる 業界に必要な英語の語彙力アップ							

授業計画・内容		
1回目	航空業界の基本的な単語を学ぶ	
2回目	基本的な文法ルールと文章構造の復習	
3回目	一般的な句読点とその使い方を文章で使うことができる	
4回目	スペルチェック、校正ができる	
5回目	メールを書くことができる	
6回目	フォーマルな手紙が書ける	
7回目	航空業界のメモが書ける	
8回目	航空業界におけるレポートを書くことができる 1	
9回目	航空業界におけるレポートを書くことができる 2	
10回目	会社を改善すると思われる提案を書くことができる	
11回目	レッスン1～3の復習。	
12回目	レッスン4～6の復習。	
13回目	レッスン7～10の復習。	
14回目	★評価週	理解度テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	理解度テストの総復習
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください	
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25%	
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。	
【使用教科書・教材・参考書】		
授業内筆記(この授業専用のノートを用意してください。) ※注) 他の授業のノートと一緒にしないようにしてください。		

科目名 (英)	ICT・AIビジネス ICT・AI business	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	田村 勇樹
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期 水曜3限目
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 社会で頻用されるツールとその特徴について、情報収集をして説明することができる。 また、その応用や発展性について、議論、発表することができる。 【実務経験】 講師紹介:PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。また写真、動画制作を行っており、写真展、写真集制作、YouTube動画制作などを行う。							
【到達目標】 ホテル観光業界やビジネスの現場で利用されているICT・AI技術の活用事例を学びプレゼンテーションをすることができる。							

授業計画・内容	
1回目	情報収集と要約と発表の方法について
2回目	ホテルのDXについて、議論し発表することができる
3回目	観光のDXについて、議論し発表することができる
4回目	コンシューマーゲームサービス(情報収集)社会で頻用されるツールとその特徴について、情報収集をして説明することができる。
5回目	コンシューマーゲームサービス(応用、発展性)その応用や発展性について、議論、発表することができる。
6回目	動画配信サービス(情報収集)社会で頻用されるツールとその特徴について、情報収集をして説明することができる。
7回目	動画配信サービス(応用、発展性)その応用や発展性について、議論、発表することができる。
8回目	web会議サービス(情報収集)社会で頻用されるツールとその特徴について、情報収集をして説明することができる。
9回目	web会議サービス(応用、発展性)その応用や発展性について、議論、発表することができる。
10回目	VRデバイスおよび、そのサービス(情報収集)社会で頻用されるツールとその特徴について、情報収集をして説明することができる。
11回目	VRデバイスおよび、そのサービス(応用、発展性)その応用や発展性について、議論、発表することができる。
12回目	sequence SUIDOBASHI(情報収集)社会で頻用されるツールとその特徴について、情報収集をして説明することができる。
13回目	sequence SUIDOBASHI(応用、発展性)その応用や発展性について、議論、発表することができる。
14回目	★評価週 確認テスト
15回目	総括
準備学習 時間外学習	なし
評価方法	各回の発表と確認テスト
受講生への メッセージ	この授業で社会人として必要最低限のITリテラシーと、情報分析および情報伝達能力を養いましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	英会話(スピーキング & リスニング)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	MONESTES DAVID
	English conversation / English (Reading)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前・後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	金曜日3時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) このクラスではレーディングから会話へを目標としています。1週間ごとに日常会話をベースにした教材を読んでディスカッションをするという形と生徒が自分で選んだ記事について クラスで発表するという形を交互に行うコースです。 ※実務経験：2021年～オンラインで外国語の教師を務める。また九州日仏学館で約1年勤務したのちに、2023年から当校で講師を務める。							
【到達目標】 単語スキルを高めること、人前で英語で発表できること、読んだテキストを要約出来るように目的としています。							

授業計画・内容	
1回目	Birthplaces and Residences
2回目	Practicing reading and speaking from Daily News
3回目	family and relatives
4回目	Practicing reading and speaking from Daily News
5回目	Traveling
6回目	Practicing reading and speaking from Daily News
7回目	Movie
8回目	Practicing reading and speaking from Daily News
9回目	The Look
10回目	Practicing reading and speaking from Daily News
11回目	Reading a Novel
12回目	Practicing reading and speaking from Daily News
13回目	復習
14回目	試験
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆記試験 100%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルの教材と出版社教材	

科目名 (英)	英語	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	MONESTES DAVID
	English conversation	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前・後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	水曜日4時限
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） このクラスではリーディングから会話へを目標としています。1週間ごとに日常会話をベースにした教材を読んでディスカッションをするという形と生徒が自分で選んだ記事について クラスで発表するという形を交互に行うコースです。 ※実務経験：2021年～オンラインで外国語の教師を務める。また九州日仏学館で約1年勤務したのちに、2023年から当校で講師を務める。							
【到達目標】 会話力と表現力を上達させることを目標にしています。							

授業計画・内容	
1回目	Birthplaces and Residences
2回目	Practicing reading and speaking from Daily News
3回目	family and relatives
4回目	Practicing reading and speaking from Daily News
5回目	Traveling
6回目	Practicing reading and speaking from Daily News
7回目	Movie
8回目	Practicing reading and speaking from Daily News
9回目	The Look
10回目	Practicing reading and speaking from Daily News
11回目	Reading a Novel
12回目	Practicing reading and speaking from Daily News
13回目	復習
14回目	試験
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆記試験 100%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルの材料と出版社教材	

科目名 (英)	WEBマーケティング	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	田中 香利
	WEB marketing	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	火曜2限・3限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
※実務経験 株式会社千草にてゲストハウス・ホテル会場の支配人として15年勤務。その後、株式会社ミラポートジャパン プライダルコンサルティング会社 代表取締役 に就任。							
【到達目標】 数字を使いこなす : 頭のイメージを言語化→数値化→具体化→伝達化 できる							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション 社会における数字の世界概要
第2回	目標達成を数値化する方法1 : 目標設定 : 頭の中のイメージを数字で表現するスキルを身につけることができる
第3回	目標達成を数値化する方法2 : アンカリング効果 : 顧客が反応するポイントを把握するスキルを身につけることができる
第4回	目標達成を数値化する方法3 : サムシングニューの数字設定 : マインドスキルアップに伴い効果的なセールストークスキルを身につけることができる
第5回	言語化のポイントは数字で表現する1 : 思考のものさし : 頭の中のイメージを数字で言語化する方法を理解できる
第6回	言語化のポイントは数字で表現する2 : 理解語彙と使用語彙 : 頭の中のイメージを数字で言語化する方法を理解できる
第7回	言語化のポイントは数字で表現する3 : 具体化 : 頭の中のイメージの言語を数字で具体化するスキルを身につけることができる
第8回	言語化のポイントは数字で表現する4 : プロフィールを数字で作成 : セールス時の説得力を身につけることができる
第9回	言語化のポイントは数字で表現する5 : アウトプット: 具体化された数字をストーリーに : 伝達力を見につけることができる
第10回	言語化のポイントは数字で表現する6 : アウトプット: 具体化された数字をストーリーに : 伝達力を見につけることができる
第11回	数字を引用したセールストーク1: 或る会社の商品(プライダル業界)の商品のセールストークを作成 : 夢と想いを数字化したトークスキルを身につけることができる
第12回	数字を引用したセールストーク2: 或る会社の商品(サービス業界)の商品のセールストークを作成 : 夢と想いを数字化したトークスキルを身につけることができる
第13回	数字を引用したセールストーク3: 或る会社の商品(サービス業界)の商品のセールストークを作成 : 夢と想いを数字化したトークスキルを身につけることができる
第14回	期末テスト
第15回	期末テスト 振り返り 復習 まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	PCを使用
受講生への メッセージ	残り少ない学生期間で、数字の深掘りをし、アウトプットし伝達する力を身につけましょう
【使用教科書・教材・参考書】	
PC・USB持参	

科目名 (英)	ホスピタリティ演習 Hospitality Practical training	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	川崎 侑季
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 就職に向けて必要になること、知っておかないといけないことを学習します。							曜日・時限 火曜日3時限
※実務経験： グランドスタッフとして福岡空港国際線で勤務ののち、エアライン専門学校で3年間勤務。約1,000人の授業、就職支援、教務責任者を担当。 現在は接遇を評価され、医師専門の税務会見を担当している。							
【到達目標】 就職後に求められること(知っておかないといけないこと)をあらかじめ知っておこう。							

授業計画・内容	
1回目	立居振舞 ～復習～ 第一印象は大事！
2回目	電話対応① ～固定電話の使い方～
3回目	クッション言葉(実際によく使うものを実践)
4回目	お手紙、メールでの対応
5回目	SNSのリテラシーについて
6回目	先輩、上司へのほうれんそう(実際にあったトラブルで実践)
7回目	電話対応② ～ほうれんそう、引継ぎに必要なメモ～
8回目	冠婚葬祭について
9回目	労働者の権利① ～休暇関係～
10回目	年末調整、源泉徴収票(支払調書)、確定申告について
11回目	会社員とフリーランスの違い
12回目	労働者の権利② ～もらえるお金関係～
13回目	肉体労働、頭脳労働、感情労働とは クレーム対応の流れ
14回目	対応に悩んだら優先すべきこと
15回目	卒業して社会人になるにあたって
準備学習 時間外学習	特に準備の必要はありません。
評価方法	授業態度 70% 身だしなみ・立居振舞 30%
受講生への メッセージ	これから社会に出ていくにあたり必要な内容です。 早期入社等に応じて内容が前後することがあります。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名 (英)	面接対策Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	川崎 侑季
	Work SeminarⅡ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	火曜日5時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 実践を通して、インターンシップ、就職活動を身近に考えていけるように学んでいきます。 ※実務経験： グランドスタッフとして福岡空港国際線で勤務ののち、エアライン専門学校で3年間勤務。約1,000人の授業、就職支援、教務責任者を担当。 現在は接遇を評価され、医師専門の税務会見を担当している。							
【到達目標】 選考を通過できる下地をつくる。 いつでもどこでも好感を持てる振舞ができる。							

授業計画・内容	
1回目	身だしなみ・立居振舞 ～復習～
2回目	志望動機①
3回目	自己PR①
4回目	写真について
5回目	動画選考①
6回目	動画選考② ～①の内容を踏まえて、学校内で1分自己PR撮影～ ※私服着用
7回目	写真について② ～①の内容を踏まえて、テーマに沿って撮影～ ※私服着用
8回目	自己PR動画、写真鑑賞会(写真についてはプレゼンしてもらいます) ※スマートフォンを使用
9回目	志望動機②
10回目	自己PR②
11回目	企業研究 ～第3、4希望企業の「刺さったフレーズ」についてプレゼン～ ※PC使用
12回目	企業のSNSについて ～戦略を感じ取ろう～
13回目	ES作成(過去のES内容を利用し作成)
14回目	期末試験(面接形式で志望動機、自己PRチェック)
15回目	ES作成、試験の様子鑑賞会
準備学習 時間外学習	プレゼンの機会を多く設けています。 準備をしっかり行って臨んでください。
評価方法	授業態度 70% 身だしなみ・立居振舞 30%
受講生への メッセージ	就職活動は遠い未来ではなく、すぐ近くに迫っているものです。 気を引き締めて受講しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ホスピタリティ演習 Hospitality Practical training	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	川崎 侑季
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 火曜日3時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) マーケティングを通して、会社をより理解していくための学習をします。 ※実務経験： グランドスタッフとして福岡空港国際線で勤務ののち、エアライン専門学校で3年間勤務。約1,000人の授業、就職支援、教務責任者を担当。 現在は接客を評価され、医師専門の税務会見を担当している。							
【到達目標】 就職後に求められる内容をあらかじめ知っておこう。							

授業計画・内容	
1回目	マーケティングとは？
2回目	セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング
3回目	マクドナルドとモスバーガー、何が違う？
4回目	マジカルナンバーを使いこなそう
5回目	ほうれんそう、PDCAサイクル、ルーティン化とは
6回目	ほうれんそうはなぜ必要？
7回目	選考先、内定先企業をブランディングしてみよう
8回目	ブランディングした内容を発表しよう
9回目	福岡空港の特徴 ～どんなキャッチフレーズをつける？～
10回目	各航空会社のSNS戦略 ※スマートフォンを忘れずに！
11回目	成功している例、失敗している例、どうすれば成功に導ける？
12回目	マーケティングをおもてなしに反映させるには？
13回目	ほうれんそうとおもてなしの関係
14回目	自分をブランディングしたらどんなキャッチフレーズになる？
15回目	あなたのSNSフォローを増やすには？
準備学習 時間外学習	特に準備の必要はありません。
評価方法	授業態度 70% 身だしなみ・立居振舞 30%
受講生への メッセージ	難しい内容ですが、理解できると楽しいです。 就職活動の箸休めとして楽しく受講してください。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名 (英)	キャリアプログラム Career Program	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	川崎 侑季
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前・後期 火曜日4時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) エアラインの仕事、求められていることについて学習します。 ※実務経験： グランドスタッフとして福岡空港国際線で勤務ののち、エアライン専門学校で3年間勤務。約1,000人の授業、就職支援、教務責任者を担当。 現在は接客を評価され、医師専門の税務会見を担当している。							
【到達目標】 楽しみながらAL業界について理解する。 人前でためらいなく話せるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、他己紹介、第一印象、テーマトーク
2回目	立居振舞(立ち方、座り方、歩き方、お出迎え) ※ヒール7センチ以上の靴を持参してください。
3回目	話し方、聞き方、伝え方(正しい日本語を使おう)
4回目	職業理解(GS)
5回目	職業理解(CA)→GSとの違いを中心にお知らせします。
6回目	自己分析(自分年表の作成)→自己PRポイントを見つけよう
7回目	企業研究 ※PC利用
8回目	企業研究プレゼン大会 ～先生方にもプレゼンを聴講してもらおう～ ※PC利用
9回目	アナウンス(空港内アナウンスをやってみよう)
10回目	ハンディキャップがあるお客様に対する対応体験 ※マスク持参
11回目	緊急事態に自分とお客様の命を守るには
12回目	モックアップ(機内サービスをやってみよう！FSC、LCCの違いは？)
13回目	私服についてのプレゼン(戦略的に見られる意識をもつ) ～面接に慣れる～ ※私服
14回目	期末試験(面接形式で行います)
15回目	試験振り返り、半年間の総括
準備学習 時間外学習	「話してみる」「やってみる」ことを念頭に授業を設定しています。 テーマに沿った準備を行いましょう。
評価方法	授業態度 70% 身だしなみ・立居振舞 30%
受講生への メッセージ	CA、GSってどんな仕事なのか？何を求められているのか？ということをイメージではなく体験を通して知っていきましょう。 楽しく受講してください。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名 (英)	SPI	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	小柳 亜紀
	SPI	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	火曜日2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 実践的な試験対策の授業を実施。言語分野では言語の意味や、話の要旨を的確にとらえる理解力を養う。非言語分野では、数的処理能力、および解法を理解し、正確・迅速な解答力がつくよう指導する。 ※実務経験：久留米大学、九州産業大学において、公務員講座受験の一環としてSPI対策、7年指導。専門学校九州英数学館国際ビジネス学科(留学生対象)SPI対策5年指導。							
【到達目標】 ・就職筆記試験における、適性検査(SPI)の重要性を認識できる。 ・SPI問題を網羅し、「見たことがないのでできない」という初歩的な苦手意識を克服できる。 ・【初級】で、数的基礎を思い出し、非言語問題の解法にスムーズに進むことができる。 ・「非言語分野」での出題頻度の高い問題の解法パターンを習得できる。 ・「言語分野」問題に数多く触れることで、語彙力、言語知識を学ぶ楽しさを養うとともに、自ら文章を読み、語彙力を増やすことができる。							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介・SPI試験の概要・対策・現状測定(基本的な計算の復習、SPI例として、表の見方)
2回目	【初級】基礎的な計算(割合・比の基礎)【非言語問題:濃度算】 割合・比を復習することで、濃度式の立式がスムーズにできる。
3回目	初級】基礎的な計算(時間、速さの単位変換)【非言語問題:速度算】 単位変換のケアレスミスをなくし、速度算を習得できる。
4回目	【非言語:損益算】 初歩的な問題を数多くこなすことで構造を習得、苦手意識を克服し、直感的な解法ができるようになる。
5回目	【言語問題:同意語・反意語】同じ意味、異なる意味 頻出の言葉を繰り返し解き、解法のテクニックと共に判断できる。
6回目	【言語問題:2語の関係】 2つの単語同士の関係 例題からをすばやく見抜く力がつくとともに、頻出問題を選択できる力をつける。
7回目	【初級】一次方程式 【非言語問題:割合と値段】 全体と部分と割合の関係をつかめる。回数払いは時系列で整理できる。
8回目	【初級】場合の数 【非言語問題:順列・組み合わせ】 問題から順列か組み合わせなのを、判断して解くことができる
9回目	【言語問題:文の並び替え】 接続詞、代名詞などで先頭にくる文が、的確にわかるようになる。
10回目	【言語問題:空欄補充】 具体例、言いかえ表現に、見抜く力がつく。
11回目	【初級】基礎的な四則計算【非言語問題:ブラックボックス】 丁寧な解法が習慣づき、結果として、複雑なボックスも解法できる。
12回目	非言語:論証】 対偶と三段論法をそれぞれ理解。条件で示される否定文が対偶をとって肯定文にできる。
13回目	【非言語問題】と【言語問題】頻出問題
14回目	評価週 到達確認のための期末試験
15回目	追試・再試 および【その他の非言語問題】 非言語問題に関して網羅、解法はすべてチャレンジできる。
準備学習 時間外学習	授業時間内での演習プラスとして、やや難易度の高い問題を宿題(課題)として出題(自宅学習)、次回冒頭での答え合わせ
評価方法	期末試験(筆記試験)100%(100点)
受講生への メッセージ	SPIは数学的知識を必要とする問題の比重が高くなります。苦手だ、見るのも嫌だという意識を克服することを目標にしましょう。そのために、まず問題を【初級】として、数多く解いていきます。その【初級】問題で、基礎的な数的知識を思い出しましょう。また、得意不得意分野が個人で異なるので、友人同士解き方を工夫、教えあいながら、苦手項目を克服していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 参考図書「ドリル式 SPI問題集」	

科目名 (英)	ICT・AI基礎	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	田村 勇樹
	Practice for Tablet&IT literacy	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	水曜日1時限
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） AI-900の試験範囲を「授業計画・内容」の内容を基に各回で習得していきます。 ※実務経験 講師紹介: コンシューマーゲームソフトをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。また写真、動画制作を行っており、写真展、写真集制作、YouTube動画制作などを行う。							
【到達目標】 iPadの使用方法や活用方法、AI-900の対策、到達目標は資格取得と今後自分が目指す業界にどのように生かせるか説明できる。							

授業計画・内容	
1回目	iPadの基本的な使用方法を理解して活用することができる
2回目	iPadの応用的な使用方法を理解して活用することができる
3回目	自分が目指す業界にどのように活かせるか説明できる
4回目	AI-900とは
5回目	AIの概要
6回目	機械学習の基本原則
7回目	Computer vision
8回目	Computer vision
9回目	Computer vision
10回目	自然言語処理
11回目	対話型 AI
12回目	知識確認テスト
13回目	知識確認テスト結果の総括と復習
14回目	総合復習
15回目	Azure本試験
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率60% 試験結果40%
受講生への メッセージ	昨年から今年にかけて、AI関連のニュースも多くなり、これからますます需要の増す資格試験なので合格を勝ち取りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

福岡ウェディング＆ホテル・IR専門学校 2021年度後期 授業シラバス

科目名 (英)	コーチングスキル Coaching skill	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	青柳 明子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	水曜1限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】社会人として働くうえで役立つ様々な知識を講義します。一般常識、マナーを取り入れ、今後社会で活躍する魅力的な人材を育成します。							
【実務経験】エミレーツ航空にて客室乗務員として約7年間勤務 講師歴2年							
【到達目標】							
就職後に必要となる実践的な知識を身に付け、今後の社会人生活に役立てることができる。様々なシチュエーションに対応できるスキルを身に付けることができる。							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介・授業の目的説明・社会人として働くまでの時間の過ごし方
2回目	所作の大切さ、第一印象の大切さを知り、理由を説明することができる。
3回目	マナーの必要性・重要性を説明することができる。好感度を高めるポイントについて学ぶことができる。
4回目	接客・接遇マナーについて学び演習する。
5回目	接客・接遇マナーについて学び演習する。
6回目	話し方と聞き方のポイント・正しい言葉遣いを身に付けることができる。
7回目	名刺交換・席次・来客時の対応の仕方を身に付けることができる。
8回目	報告・連絡・相談を的確に行うことができる。。スケジュール管理等基本的な仕事の仕方を身に付けることができる。
9回目	仕事での立ち振る舞いを考え、入社から退社までのマナーを身に付けることができる。
10回目	様々なニーズに合わせた、シチュエーション別の対応の仕方を身に付けることができる。
11回目	訪問先でのマナーを身に付けることができる。
12回目	雑談力・会話力を上げる方法を学び、会話を膨らませることができる。
13回目	就職後の心構え・社内外で気を付けること
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試 総復習
準備学習 時間外学習	聞いてみたいこと、疑問に思ったことを事前に考えて用意しておきましょう。
評価方法	期末テスト100% (レポート提出)
受講生への メッセージ	本講義は社会人に必要なマナー・スキルを分かりやすく講義します。もうすぐ社会で活躍する自分をイメージしながら受講してください。
必要に応じてプリント配布	

科目名 (英)	卒業制作	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	采女先生
	Presentation to mark the two years study	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	水曜日5限
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
レストランサービス技能士一級を取得し、数々のホテルにてレストランサービスを30年経験。 上記の経験を活かし基本的な知識、技術をシミュレーションを通して接客サービスを学ぶ。							
【到達目標】							
フルコースサービスの知識、技術の習得							

授業計画・内容	
第1回	9/20 オリエンテーション・コース料理構成
第2回	9/27 サービススタッフのマナー
第3回	10/3 テーブルセッティング
第4回	10/11 実技①
第5回	10/18 実技②
第6回	10/25 実技③
第7回	11/8 中間まとめ
第8回	11/15 実技④
第9回	11/22 実技⑤
第10回	11/29 実技⑥
第11回	12/6 実技試験①
第12回	12/13 まとめ② 就職出陣式の為、1/31に振替
第13回	1/10 実技試験②
第14回	1/17 評価週
第15回	1/24 まとめ①
準備学習 時間外学習	
評価方法	実技50% レポート提出30% 授業態度20%
受講生への メッセージ	フルコースサービスのシミュレーションを通して知識、技術だけではなく「おもてなし」を学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
レジュメなど	